



平成23年6月1日

宮城県「日本はひとつ」しごと協議会 委員 殿

被災者等の就労支援及び雇用創出に際する雇用の質の確保について（要請）

東日本大震災に関連する雇用問題について、宮城県「日本はひとつ」しごと協議会を通じて様々な連携と御協力をいただいておりますことに対しまして、関係者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

震災により仕事を失った方々には、十分な雇用機会を提供できるよう、まずは雇用維持・創出を図ることが重要です。

それと同時に、被災者の方々が安心して働き、生活再建にしっかりとつながっていくよう、労働条件、安全衛生など、雇用の質にも十分に配慮していくことが望ましいということはいまでもありません。

これにより、東日本大震災で被災した方々のしごとと暮らしを、いわば日本中が一つになって支えていく「『日本はひとつ』しごとプロジェクト」の趣旨がより一層活かされることとなります。

この点について、政府に設置された被災者等就労支援・雇用創出推進会議において、先般、座長である小宮山厚生労働副大臣から会議を構成する関係省庁に対して、改めて認識を共有されるよう要請がなされたところです。

特に、雇用創出の場として大きな役割を担う公共事業では、賃金を含む雇用の質の確保が強く求められております。

本県でも、復旧事業の計画・予定の共有化、被災者の優先的な雇用、復旧事業に係る求人のハローワークへの提出などについて、ご協力をいただいているところですが、関係行政機関各位におかれては、改めてこのような認識をいただき、貴機関に係る雇用の創出等に際して特段の御配慮をいただくことをお願いするとともに、経済界の皆様におかれましても、被災者の方々の雇用の質の確保についてご理解賜りますようお願い申し上げます。

宮城県「日本はひとつ」しごと協議会 座長
宮 城 労 働 局 長 小 山 浩 一